



JASDAQ

平成 20 年 2 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社 セ ッ ク
代表者名 代表取締役社長 秋 山 逸 志
(コード番号：3741)
問合せ先 経理部長 中川 美和子
(TEL. 03 - 5458 - 7727)

平成 20 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 11 月 12 日の中間決算短信発表時に公表した平成 20 年 3 月期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)の通期業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の通期(非連結)業績予想数値の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	3,000	420	450	260
今 回 修 正 予 想 (B)	2,430	50	130	60
増 減 額 (B - A)	570	370	320	200
増 減 率 (%)	19.0	88.1	71.1	76.9
(ご参考) 前期実績(平成 19 年 3 月期通期)	2,831	367	401	218

2. 修正の理由

携帯電話端末向けエンベデッドソフトウェア開発の分野において、各端末ベンダーの開発計画が見直されており、開発の停滞や縮小の影響が下期に入っても継続しております。この影響に対処すべく、エンベデッドソフトウェア開発技術の強みを活かして、携帯電話を利用した技術アプリケーション開発や携帯電話端末以外のエンベデッドソフトウェア開発、ソリューション製品を使用したソリューションビジネスなどに展開いたしました。当初予想よりも携帯電話端末開発での受注が減少し、通期業績への影響が大きくなりました。

また、ソリューションビジネスの強化に向けてソリューション製品の開発投資を増やしたこと、これからの当社成長を支えるロボット分野での国からの研究受託、ベクトル描画技術や位置情報サービスに関する技術開発促進事業への参加など、新規の研究開発投資が加わったことも通期業績への引下げ要因となっております。

以上の結果、通期の業績予想を修正することといたしました。

(注意事項)

上記に記載した予想数値は、本資料発表時現在において当社が入手可能な情報に基づいて算定しており、実際の業績は、今後様々な要因により当該予想と異なる場合がありますのでご承知おきください。

以 上